

～中部地方整備局防災課より～

防災エキスパートの皆様方には、日頃より中部地方整備局の防災業務に、ご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成20年度につきましても、木曾三川連合水防演習・複合型災害防災実動訓練をはじめとする防災訓練への参加、危機管理演習におけるロールプレイング訓練への支援、重要水防箇所への河川巡視、道路防災週間における危険箇所点検など、多くの面でご協力をいただき、訓練・点検等を円滑に実施することができました。

平成20年度は中部地方整備局において緊急災害対策支援隊（TEC-FORCE）の設立、宮城・岩手内陸地震への TEC-FORCE 派遣、8月末9月初の豪雨災害において自治体への職員派遣など、全国的な災害支援及び地域支援の体制確立の必要性が強く認識された一年となりました。幸い、中部管内の直轄施設では大きな被害は無く何れの災害においても支援を行う側としての活動を行ってきました。

一方、中部地方に TEC-FORCE が派遣される事態となった場合に、被害調査や応急復旧等の活動を円滑に実施する体制が充分でないことや災害発生時に県市町村では住民対応等に追われ一般被害の情報収集も困難な状況であることが明らかになったところです。

現在、中部地方防災エキスパートは、登録者550名余を有する強力な防災ボランティア組織に成長し、全国的にもその活動が活発であることが知られています。

整備局では、大規模災害への対応を円滑に進めるための体制確立、被害情報収集体制の充実の為に、防災エキスパートの皆様にご活躍いただきたいと考えています。

このため、防災エキスパートについて、制度要綱を変更させていただき、地震・豪雨災害時における情報収集、地理に不案内な他地整からの TEC-FORCE に対する道案内、地域特性の説明支援等、活動領域を広げさせていただくよう考えています。

加えて、平成8年の発足以来、（社）中部建設協会にお願いをしておりました防災エキスパート事務局を中部地整企画部防災課へと変更することとなりました。（社）中部建設協会には、防災エキスパートの方々に不便をおかけすることが無く、引き続き様々な取り組みをしていただけるよう、検討をお願いしています。

制度要綱の変更に伴い報告の機会が増えるなど、活動いただく場面も増えることとなりますが、何卒、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。



きんとう

金藤 防災対策官

中部地方防災エキスパート活動記録

平成20年9月から平成21年2月下旬までのエキスパート活動を報告いたします。

○中部地方整備局主催の防災訓練への参加

9月1日(月)に中部地方整備局の防災訓練が実施され、防災エキスパート45名の方々が参加し、自発的モニター及び出動依頼による訓練を行いました。出動依頼による訓練では、危険箇所の点検及び被災状況連絡訓練などを行いました。

【活動の詳細】

自発的モニター活動(6事務所) : 12名

出動依頼による活動(11事務所) : 33名

※()内は、訓練における出動依頼事務所数である。

○遠州地区研修会

9月9日(火)に浜松河川事務所管内において、地震及び風水害等の大規模災害発生時に迅速な情報収集、協力活動を有効に行なうため道路・河川の危険箇所、防災拠点、物資輸送経路等の現地確認他、連絡系統の周知徹底を図り災害時に備えるための研修会が開催され防災エキスパート24名の方々が参加されました。



牛渕川水防危険箇所点検

○防災セミナーの開催

防災とボランティア週間(毎年1月15日～21日)にちなみ、1月21日(水)に、長野県飯島町の飯島町文化館で防災セミナー(主催:(社)中部建設協会 共催:国土交通省 中部地方整備局)が開催され、134名(うち防災エキスパート12名)の方々に参加いただきました。

【講演内容】

演題:「動物の目から見た防災(地球に守られている人間)」

講師:動物写真家 宮崎 学氏

概要:動物の生態を知ることによって災害の予知ができるにも関わらず、目を背けてしまう人間社会の危うさについて講演していただきました。



演題:「平成20年岩手宮城内陸地震の被害状況について」

講師:応用地質(株)中部支社 技術管理部
上級専門職 中澤 広行氏

概要:地質工学専門家の立場から見た、平成20年岩手宮城内陸地震の地質による影響と、駒ヶ根市周辺の地質について講演していただきました。



発刊:中部地方防災エキスパート事務局(社)中部建設協会 企画部

名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 住友商事丸の内ビルディング8階

TEL052-962-2227 FAX052-962-9083